

令和4年4月21日
松山河川国道事務所

石手川ダム放流警報周知会を開催 ～河川の安全利用のために～

石手川ダムでは、洪水期（6/1～10/20）を迎えるにあたり、関係機関およびダム下流沿川の地区代表者、小中学校関係者などを対象として、大雨が降った場合の石手川ダムの対応や放流警報について広く理解してもらうことを目的に「石手川ダム放流警報周知会」を開催します。

なお、令和3年度は、梅雨前線などにより計3回、ダム放流警報により河川の水位上昇をお知らせしました。

記

1. 日 時：令和4年4月27日（水）14：30～15：30
2. 場 所：重信川河川防災ステーション
愛媛県松山市森松町重信川右岸河川敷（別紙地図参照）
3. 取材について： 報道関係者の取材は可能です。なお、取材を行う場合は、事前に下記の問い合わせ先に連絡をお願いします。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長（河川）：ふじた ひろし 藤田 博史
河川管理課長：とやま さだお 外山 定夫

事務所代表 TEL 089-972-0034

◎石手川ダム管理支所長：なかむら しげたか 中村 成孝

石手川ダム管理支所 TEL 089-977-0021

FAX 089-977-0048

◎：主な問い合わせ先

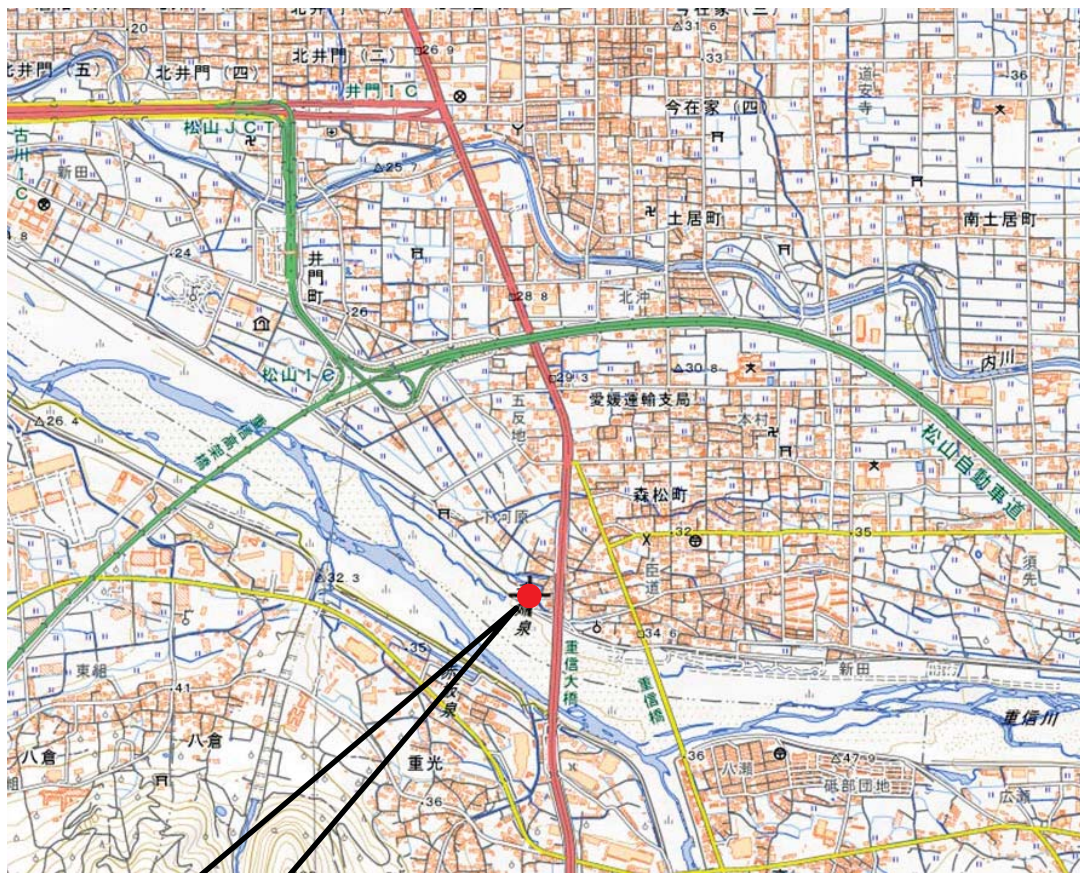
※注意事項

今年度は新型コロナウイルス感染・拡大の防止に努めるため以下のとおり説明会を開催します。

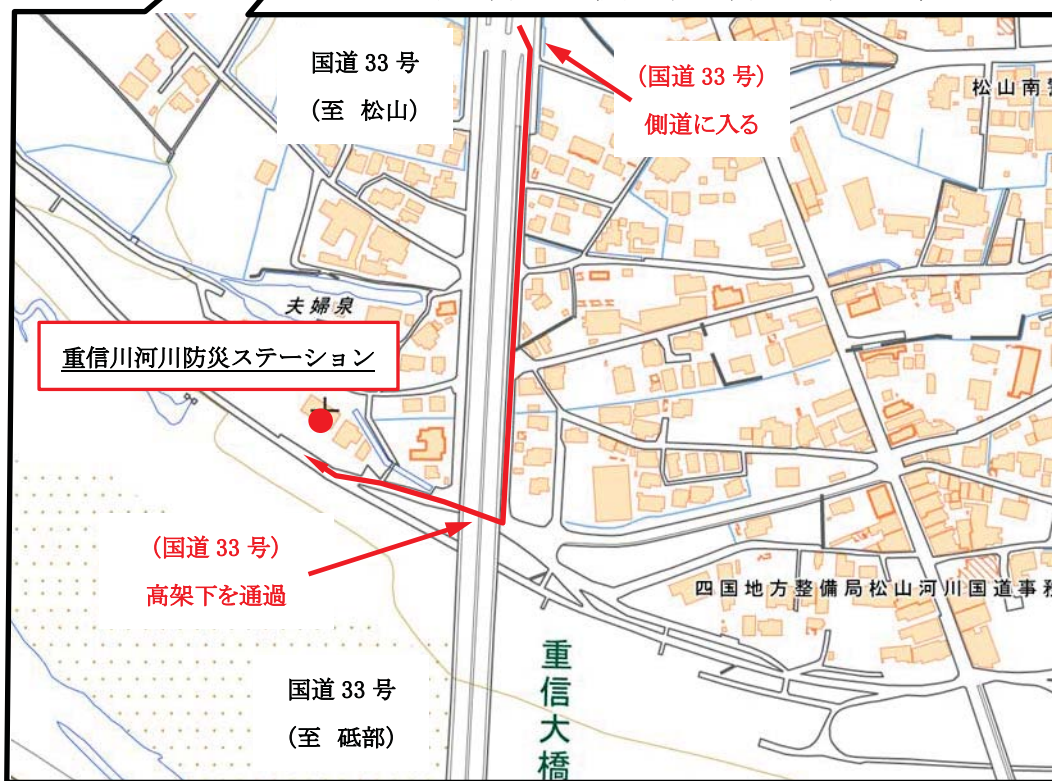
○放流警報周知会について

- ・放流警報周知会は開催しますが、説明資料等を事前に郵送し確認して頂きます。(質問書も同封)
- ・会議を効率的かつ短時間で終了させるため、案内と同時に質問を依頼します。
- ・参加者は最低限の人数でご出席願います。
※周知会に出席される方は、資料を持参して下さい。
- ・当日の説明は、昨年度からの変更点などポイントを絞って説明します。
※会議時間を極力短くするため。
- ・出席者の間隔は 2m以上離します。
- ・説明会当日は、検温・体調確認・手の消毒にご協力願います。
- ・職員及び出席者の皆さまは全員マスクを着用して頂くようご協力願います。

別紙地図



※この地図は国土地理院図（電子国土Web）に加筆したものである。



※この地図は国土地理院図（電子国土Web）に加筆したものである。

重信川河川防災ステーション

- ・所在地：松山市森松町重信川右岸河川敷

○令和2年度の開催状況



○おもな警報施設

石手川ダムから重信川河口までに28箇所、警報所が設置されています。
(写真：永木警報所)



石手川ダム 放流時の警報とお願い

放流時には下流の川原、及び沿川の人々に危険が及ばないように、より確実に情報を伝えます。

1 警報所からのサイレン・スピーカーによる警報

石手川ダム～重信川河口の間には、合計28カ所の警報所(サイレンスピーカー15カ所、スピーカー13カ所)があり、ダムに近接する3警報所(管理庁舎、宿野、末)は放流開始約30分前及び放流開始直前に、その他の25警報所は、各警報所地点の水位が上昇すると予想される約30分前に警報を行います。



警報所(ダムに近い管理庁舎、宿野、末の3カ所)
 放流開始約30分前: 予告警報アナウンス*1+サイレン音*3
 放流開始直前: 放流中の警報アナウンス*2+サイレン音*3

警報所(その他25カ所)
 水位上昇の約30分前:
 放流中の警報アナウンス*2+サイレン音*3

- *1 予告警報は
「こちらは国土交通省石手川ダム管理支所でございます。まもなく石手川ダムから放流を行います。危険ですから川原に降りないでください。」とアナウンスします。
- *2 放流中の警報は
「こちらは国土交通省石手川ダム管理支所でございます。現在、石手川ダムから放流を行っております。危険ですから川原に降りないでください。」とアナウンスします。

- *3 サイレンは
スピーカーによる放送後、「50秒鳴って5秒休み」を3回繰り返します。
※警報所の位置は、裏面を参考にしてください。



2 警報車からのスピーカーによる警報

警報車2台が河川の両岸に分かれ、ダムから重信川河口まで、スピーカーによる警報を行いながら巡回します。警報内容は、警報所からの警報内容と同じです。
 *ダム～末警報所間は、予告警報、放流中の警報の2回、末警報所～重信川河口間は、放流中の警報のみです。



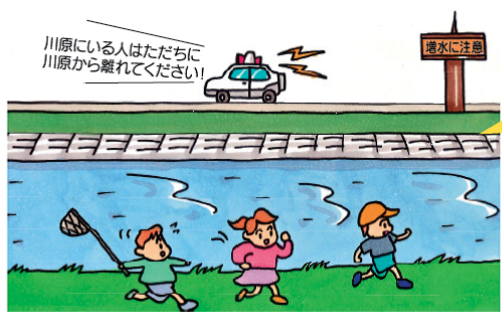
3 放流情報表示装置(電光表示装置)による警報

石手川の湯渡橋～松山中央公園間の7カ所に電光表示装置を設置しており、ダムから放流しているときは、「雨のため増水に注意」と表示します。

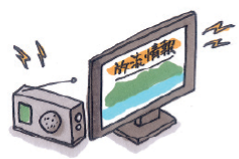


4 報道機関による放流情報

報道機関の協力により、ダム放流情報が放送されます。テレビでは、テロップ(画面文字情報)がながれます。



警報が鳴ったら
 川原にいる人は、ただちに川原から離れてください!!
 川原へは絶対に降りないでください!!



川の防災情報 川の状況、ダムの放流通知等をリアルタイム発信。

- パソコンから <https://www.river.go.jp/>
- スマートフォンから <https://www.river.go.jp/>

※【Internet Explorer】には対応していません。

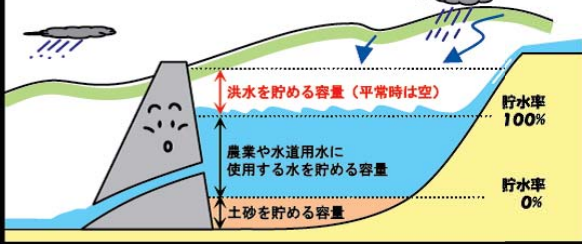


石手川ダムのご役割、ご存知ですか？

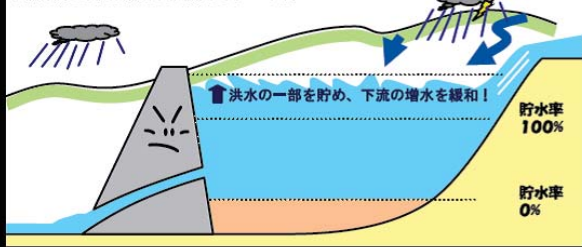
石手川ダムの役割のひとつに、大雨のときに水を貯める役割があります。流れ込んでくる水の一部をダム貯水池に貯め、下流の増水を緩和します。

- 次のような場合は再度サイレンを鳴らしますので、川から離れて河川やダムに注意して下さい。
- ① 非常に大きな洪水の発生などにより洪水を貯める容量を使い切ると見込まれる場合、または堤体に異常が生じた場合、その他緊急かつ止むを得ない場合。
- ② ダムから放流を行う場合で食場地点の水位の上昇が30分につき50cm以上であると予想されるとき。

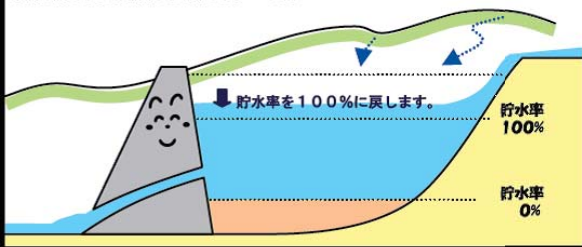
① 小さい洪水 (ダムに流れ込んでくる水が毎秒300m³未満のとき)
 ②の大きい洪水時に、ダムの効果が発揮されるように洪水を貯める容量を維持します。下流に流れる水は最大でもダムに流れ込んでくる水と同じ量です。



② 大きい洪水 (ダムに流れ込んでくる水が毎秒300m³以上のとき)
 流れ込んでくる水の一部をダム貯水池に貯め、下流の増水を緩和します。下流に流れる水は最大でも毎秒300m³です。



③ ダムに流れ込む水量が減ってくると...
 次の大雨に備えるために貯めた水を流し、貯水率を100%まで戻します。下流に流れる水は最大でも毎秒300m³です。



警報所の位置図

- … 警報所(サイレンスピーカー、15ヶ所)
- … 警報所(スピーカー、13ヶ所)
- ▲ … 放流情報表示装置(7ヶ所)

